

1. 件名：「志賀原子力発電所 2 号機の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング (57)」

2. 日時：令和 4 年 7 月 8 日（金） 10 時 00 分～ 12 時 05 分

3. 場所：原子力規制庁 9 階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口主任安全審査官、海田主任安全審査官※、谷主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、西来主任技術研究調査官、松末技術参与、馬場係員

北陸電力株式会社：小田常務執行役員 他 9 名 ※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・ 志賀原子力発電所 2 号炉 敷地周辺の地質・地質構造について
敷地近傍の断層の評価（コメント回答）
- ・ 志賀原子力発電所 2 号炉 敷地周辺の地質・地質構造について
補足資料
- ・ 志賀原子力発電所 2 号炉 敷地周辺の地質・地質構造について
データ集 1（空中写真・ボーリング柱状図・ボーリングコア写真・BHTV）

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	タイミングで、
0:00:03	はい、規制庁の西木です。それではヒアリングを始めたいと思います。 本日のヒアリングは祝発電所、
0:00:11	志賀原子力発電所 2 号炉敷地周辺の地質地質構造についての、敷地近傍 の断層評価のコメント回答になります。それでは
0:00:21	北陸電力より説明の方をお願いいたします。
0:00:28	はい。北陸電力の吉田です。
0:00:31	本日はよろしくをお願いいたします。
0:00:34	まず初めに資料の確認をさせていただきます。
0:00:37	表紙にですね敷地近傍の断層の評価コメント回答をと書いたものが本資 料です。
0:00:44	嗟峨といたしまして、補足資料をですね、データ集 1 計算点をご用意し てございます。
0:00:53	それでは本資料に基づきまして説明をさせていただきますが、
0:00:58	今日はですね、2 回目のヒアリングになりますので、前回のヒアリング からの変更点を中心にご説明いたします。
0:01:05	私の方から、まず目次の前の概要のページの変更点を説明し、そのあ と、
0:01:11	本冊での変更点を説明いたします。
0:01:14	説明は全体で 20 分程度を予定してございます。
0:01:18	それではですね本資料 6 ページの方、
0:01:21	をご覧ください。
0:01:25	このページはですね追加調査の結果の概要を示したページです。
0:01:30	この表でですね一番下の欄、
0:01:33	これ大坪川ダムの基礎掘削面の、
0:01:36	フランスをにに関してのオオキサイですが、
0:01:39	これ四つめの欄。
0:01:41	ですね、四つめをご覧ください。
0:01:45	これ 1 ヶ月前の、前回のヒアリング以降にですね、データ拡充を目的と しまして、
0:01:51	S9 という、新しいボーリングを追加してございます。
0:01:56	ここで記載の修正がございませぬの上のですねボーリング坑 4 校となっ ておりますが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:03	この追加した以降、追加、加えておりませんでしたので、5項と、修正間違いでございます。
0:02:10	申し訳ございませんです。
0:02:13	このS9-1ですが、めくって8ページの方をご覧ください。
0:02:22	右の拡大した図でですね、上の方の、大坪川ダム員の
0:02:28	二条ある断層の間に、S9と書いた北方向に向いた線緑の線ですね。
0:02:36	これが追加したボーリングでございます。
0:02:39	これに関しまして12ページの方、
0:02:43	まためくってお願いいたします。
0:02:46	このSQのですね、データを追加した上で、改めて、断層の連続性、そして活動性について、
0:02:55	まとめてございます。この内容につきましては、本文の中で詳細にこの後ご説明させていただきます。
0:03:03	目次の前で示した概要のページで、主に修正した提案は以上となりますが、
0:03:10	19ページの方、目次の方をご覧ください。
0:03:18	前回のですねヒアリングでいただいたご意見を踏まえまして、本資料の
0:03:24	スリム化をしております。具体的に申しますと、
0:03:28	総論等をまとめました一緒や、この2点一緒ですね。
0:03:34	そして次のページ。
0:03:36	そうですね。今はだんだんその下の、
0:03:40	ちょっと薄いですが、2.4. 1.2と、鳥井岩永断層と、
0:03:46	兜岩沖断層の間の話ですね、これにつきましては、すでにコメント回答を行っております。
0:03:53	こういったものはですね、コメント回答を資料の今回の資料からはですね、省かせていただいております。
0:04:01	それでは引き続きましてコバヤシの方から、本文内の変更点について説明させていただきます。
0:04:08	堀区電力の小林です。
0:04:10	21ページ以降について、前回ヒアリングからの変更点を中心にご説明します。
0:04:16	48ページをご覧ください。
0:04:22	浦断層付近の岩相分布ですが、岩相区分の判例について、前回は火山礫凝灰岩と凝灰岩、凝灰岩を分けてお示ししておりましたが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:33	断層北部について、綺麗に区分しがたい箇所もあることを踏まえ、より適切な区分となるよう、さぬき凝灰岩凝灰岩を合わせた区分としております。
0:04:43	57 ページをご覧ください。
0:04:50	福浦断層上下盤の主要成分を示したハーカー図について、前回ヒアリングでご説明したように、一部のデータのプロットが前ページ等の表に記載された数値と合っておりませんでしたので、
0:05:01	正しい値にプロットしております。
0:05:04	58 ページをご覧ください。
0:05:08	反射法地震探査について、宇田断層について行った探査の全体像がわかるよう対応として、全測線の位置や目的を示したページを追加しております。
0:05:19	また、上の四角枠のすぐ下になおから始まる文章で、
0:05:23	今回の探査では、敷地内の反射法V S P探査で、花崗岩状面に着目したこととは異なり、気象付近の穴水累水中における構造の詳細検討を目的として、
0:05:34	仕様を設定したことを明記しております。
0:05:38	79 ページをご覧ください。
0:05:45	浦断層南部の分布に関する調査について、追加調査の考え方と、評価の流れを示したページを追加しております。
0:05:54	追加調査の考え方としましては、大坪阿南右岸で以上併走する福浦断層が、
0:06:00	ダム湖内ダム左岸端部にかけて、北から南にどのように連続するか、参照地震探査、ボーリング調査票だけ調査を組み合わせ、詳細に追跡します。
0:06:12	なお、福田断層以外に破碎部が対確認された場合は、
0:06:16	それらについても、連続性等について確認します。
0:06:20	評価の流れとしましては、四つの制定を行っており、右に、各ステップの内容、左図に各ステップに対応する調査位置を示しております。
0:06:30	ステップ1で、ダム付近での反射法地震探査及び、
0:06:34	ダム基礎掘削面の確認を行い、
0:06:37	その結果、
0:06:38	ダム湖内に2本の断層が推定される一方で、
0:06:41	ダム基礎掘削面には、福田断層に対応する断層は認められません。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:46	ステップに入れた無性において群列ボーリング調査を実施し、
0:06:51	浦断層西側、東側にそれぞれ対応する破砕部を確認しております。
0:06:56	これを踏まえ、ステップ3の1で、副断層、西側の、さらに何法の延長位置において、
0:07:03	連続性確認のため、表だけ調査等行い、
0:07:06	断層と走向傾斜が調和的な破砕部を救う断層西側に対応すると評価しております。
0:07:13	一方で、STEP3-2で、迫断層、東側の連続性確認として、ボーリング調査等を行った結果、
0:07:21	対応する断層が認められないことを確認しております。
0:07:25	ステップ4では、ステップ3の1で連続性が確認された須藤断層西側について、南端の確認のため、共同義ボーリング調査等を行い、
0:07:36	対応する断層が認められないことを確認しました。
0:07:40	なお、右上のステップ3-2の説明におきまして、仮に作る断層東側のトレースが西に振れて、
0:07:48	当社が福田断層西側と評価したルートマップ1や、
0:07:53	その南西方の段丘面の鞍部に連続して続く場合でも、
0:07:57	ステップ4の1に含まれるボーリング。
0:07:59	FD、4号、7項で対応する断層は認められないことを記載しております。
0:08:07	次の8ページ以降が調査結果となりますが、
0:08:10	変更点として、
0:08:12	中央の80ページの中央の図中に、
0:08:15	クーランス東側のトレースがOS4行から西側に増えた場合の線形の。
0:08:21	1点させて追記しまして、
0:08:23	その延長方向のボーリング調査で断層が認められないことを追記しております。
0:08:29	また、右下の凡例に赤矢印で示しました断層確認位置が、
0:08:35	弊社を考慮して中央付近に上げた位置に示していることを明記しております。
0:08:41	92ページをご覧ください。
0:08:49	ルートマップ、1の表だけ調査で、右図の赤枠範囲で示したところで確認した断層について、下枠の2ポツ目で、
0:08:59	浦断層西側に対応すると判断した根拠。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:02	3 ポツ目で、プール断層東側に対応するものではないと判断した根拠を記載しております。
0:09:10	この断層は未固結な粘土を挟在し、S3'孔で確認した。
0:09:15	副断層西側の破碎部と類似し、ボーリングをS4孔で確認した福田断層東側に対応する破碎部とは性状が異なることから、
0:09:25	浦断層西側に対応すると判断しました。
0:09:29	次の93ページですが、
0:09:31	岩盤上部で、
0:09:33	断層面が不明瞭になることの原因について、
0:09:36	岩盤クリープに伴う岩盤の乱れや風化変質の影響と考えられることを明記しております。
0:09:43	95ページをご覧ください。
0:09:49	ボーリング調査で確認された破碎部のうち、
0:09:52	浦断層に対応しないと評価した破碎部について、その判断基準を明記したページを追加しております。
0:09:59	福浦断層の各種の調査結果から、
0:10:01	N-S倉庫、
0:10:03	70°西傾斜を基準とし、
0:10:05	スクール断層の走向傾斜に調和的な破碎部、
0:10:09	すなわち、N-S70Wから層厚がプラスマイナス30°傾斜ガスマイナス15度、
0:10:16	下のシュミットネットに黄色塗りで示した範囲に入る破碎部について、
0:10:20	性状の比較、隣接校等への連続性の検討を行っております。
0:10:26	その結果、シュミットネットに黄色塗りの範囲に入る細部のうち、黒丸で示したものは、いずれも連続性に乏しいことなどを確認し、
0:10:35	浦断層に対応しないと評価しております。
0:10:39	次の96から98ページですが、
0:10:43	プール断層以外の外部の性状一覧を示しており、
0:10:46	前回から粘土状破碎部、
0:10:49	七条、角礫状破碎部の幅の欄を追加するなど、適正化を図っております。
0:10:56	105ページをご覧ください。
0:11:03	鶴断層北端のルートマップAにおける断層、Aですが、右上に、薄片の作成した方法がわかる概念図を追加し、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:13	90° R の方向で作成した理由として、
0:11:15	福浦断層のいずれの地点の条線データも高角であることから、本地点でも高角で薄片を作成したことを明記しております。
0:11:24	117 ページをご覧ください。
0:11:33	ルートマップDの写真⑫について、※書きで、
0:11:38	液相の写真であることを明記しております。
0:11:42	123 ページをご覧ください。
0:11:50	宇田断層南端付近の地形断面ですが、D、D' 断面について、資料後半の155 ページで掲載したJA'断面と同じ。
0:12:00	ところを通る断面に統一しております。
0:12:04	また、上がこの文章において、その断面では、福浦断層の上盤側、南西側の段丘面標高が下盤側に比べて、高くなることを明記しております。
0:12:16	139 ページをご覧ください。
0:12:24	断層を、の評価について、調査項目等、調査目的、内容をまとめたページを追加しております。
0:12:32	その中で、
0:12:33	マルBのS、7、8 行の学園観察について、前回から追加しております。
0:12:40	また、丸C-1 で、断層が福浦断層を越えて連続するか確認するために、
0:12:46	空断層西側の下盤側で実施したボーリングをS9 孔の結果についても追加しております。
0:12:54	次の140 ページには、追加データも含めて整理した調査結果をお示ししております。
0:13:01	このうち、断層をの活動性に関して、ボーリング調査をS9 項を追加した結果、
0:13:08	福浦断層の上盤側で認められた断層が、
0:13:11	浦断層西側を越えて、下盤側の直線的な崖地形に沿った想定、延長位置に認められないことを確認しました。
0:13:20	一方で、前回も、
0:13:21	ご説明していましたが、福田断層西側の確認を結ぶと、断層をの延長位置を越えて直線的に分布しています。
0:13:29	よって、断層は福田断層西側に切られていると判断しました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:35	また、薄片観察により、断層をと複数断層を比較した結果、断層をに福浦断層のような層状構造は認められず、繰り返し活動した構造は認められません。
0:13:47	さらに、地形調査において、地形断面をふやして検討した結果、断層をやその南北延長において、段丘面に高度差は認められませんが、一方で、福田断層を挟んで、
0:13:59	上盤側の段丘面が下盤側に比べて高くなります。
0:14:03	以上より、断層は連続性に乏しい断層であり、その活動は救う断層よりも相対的に古く、後期更新世以降の活動はないと評価しました。
0:14:15	なお、下の段相応の確認位置を示した表ですが、
0:14:18	表5 値の記載について、前回、左に記載した、進度から判断する際のミスにより、誤った数値が記載されているため、今回、正しい値を記載しております。
0:14:31	一方で、下の断面図における断層破碎部の位置関係については、前回から変更ありません。
0:14:38	142 ページをご覧ください。
0:14:44	断層をのボーリング観察結果ですが、142 ページの左下に、S5 孔における断層をの主せん断面の条線観察結果を追加しております。
0:14:57	下盤側の観察面で 110 度 R の条線を確認しております。
0:15:01	143 ページをご覧ください。
0:15:07	O S 7 行について、左下の黄色枠で示す範囲で、90 アールの方向で新たに薄片を作成しており、
0:15:14	検査自身が右図となります。
0:15:17	また、
0:15:18	複合面構造から逆断層センスを推定しており、
0:15:21	その詳細を次の 144 ページに示しております。
0:15:27	145 ページには、同じ主せん断面付近における X R D 分析結果を示しており、
0:15:34	主な粘土鉱物としてスメクタイト。
0:15:37	その他の粘土、変質鉱物として、関黄鉄鉱等が認められます。
0:15:43	146 ページには、S8 孔についても、
0:15:47	新たに 100 円観察を追加しており、その結果を示しております。
0:15:53	抽選断面に対し、90° R の方向で発見を作成しており、複合面構造から逆断層センスを推定をしております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:02	その詳細を次の 147 ページに示しております。
0:16:08	148 ページは、主せん断面付近の X R D 分析結果となり、
0:16:12	スメクタイト席へ黄鉄鉱等が認められております。
0:16:18	次の 149 ページでは、断層応答福浦断層の破碎部性状の聞く結果を示しております。
0:16:25	左側に示した断層をの薄片については、
0:16:28	右側の空欄層で認められるような層状構造は観察される、繰り返し活動した構造は認められません。
0:16:37	150 ページをご覧ください。
0:16:42	断層大戸福浦断層の切り合い関係の確認のため、新たに福浦断層の下盤側で追加したボーリングを S 9 孔の結果を示しております。
0:16:53	浦断層の上盤側で、断層は大坪アダム性の直線的な崖地形に沿って分布し、
0:16:59	下盤側でも崖地形沿いに出現すると想定されることから、想定延長域を含んだ範囲でボーリングを実施しました。
0:17:08	その結果、武智敬沿いの想定延長位置に、
0:17:11	プール断層の上盤側の断層をと類似した性状を有する破碎部は認められません。
0:17:18	また、凝灰角礫岩と安山岩の岩相境界にも破碎は認められず、
0:17:23	プール断層上盤側の断層を付近のように強く変質をこうむっている箇所も認められませんでした。
0:17:31	以上より、断層は福田断層西側に切られていると判断しました。
0:17:38	次の 151 ページ、152 ページにコア写真等結果の詳細を示しております。
0:17:45	153 ページをご覧ください。
0:17:49	地形調査として、前回から断面をふやして検討を行っております。
0:17:55	その結果、断層を挟んで多い段丘 1 名に、太田さん認められず、また新たに追加した A ' 断面、C C ' 断面、G ' 断面を含めて、
0:18:06	断層をの北方、南方延長を挟んで段丘面にコールさんは認められません。
0:18:12	また、155 ページに示しておりますが、
0:18:15	浦断層を挟んで、
0:18:17	1'間資産を追加し、
0:18:20	前回お示しした J ' 断面と同様に、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:24	浦断層の上盤側で段丘面が高い状況が認められます。
0:18:30	以上が福田断層の評価に関する資料の変更点となります。
0:18:36	続いて、172 ページをご覧ください。
0:18:47	172 ページ、長田付近の断層について、
0:18:50	正田議、丸井地点の草木郷層と、穴水累層が整合で接する等に関する資料を追加しております。
0:18:59	前回ご説明した右下のスケッチに加えまして、その中央のクラブ範囲における拡大スケッチを追加しております。
0:19:07	その結果が次の 173 ページとなります。
0:19:13	設置範囲の上部で、福崎郷層の会食凝灰質泥岩。
0:19:17	株で、村崎会食凝灰角礫岩が分布し、
0:19:21	下部の凝灰角礫岩では、地質に微細な密着割れ目が発達します。
0:19:28	これらの地層境界で不整合面を確認しており、整合面は不規則に破局し、上位の草木郷層が下位の穴水累層を侵食する状況が認められます。
0:19:39	次の 174 ページにおいて、
0:19:42	設置範囲内の接写写真を示しております。
0:19:46	以上が、長田付近の断層の評価に関する資料の変更点となります。
0:19:52	続いて、201 ページをご覧ください。
0:20:00	201 ページが、次は長野断層の北東たんですが、
0:20:04	上枠の四つ目の丸に、前回、
0:20:07	与儀川沿いの沖積閉を挟んで南北で地層の姿勢に変化は認められないと記載しておりました。
0:20:14	これについて露頭写真を示すようにとコメントをいただき、過去に撮影された写真の確認や、現地確認を行いました。
0:20:22	この付近には、当該箇所の図面しかなく、当該箇所でも層理面を撮影した写真が見つからず、また、現状、改変等により、当該箇所の露頭を確認できなかったことから、
0:20:34	積極的に評価に用いるための資料をお示しできないと考え、記載を削除しております。
0:20:41	一方、6Aにおいて断層は認められないとの評価の確実性を向上させるため、
0:20:46	特Aの不等号に分布する。
0:20:48	リニアメント変動地形の東方向のタニにおいてボーリングを追加で実施しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:55	こちらについて、井川檀断層に対応するような破碎部は認められないとの結果を終えており、
0:21:00	次回会合までに整理してお示ししたいと考えております。
0:21:05	206 ページをご覧ください。
0:21:13	こちらについても、先ほどのページと合わせ、
0:21:16	沖積閉を挟んで、地層の姿勢に変化は認められないとの記載を削除しております。
0:21:22	また、右下の地形断面図ですが、前回、左の位置図に示した B ' 断面の断面線 1 と、
0:21:29	ややずれた位置で、地形断面を表示していたため、今回計画に、B、B' t h e A B' の位置の断面を取った図に適正化しております。
0:21:40	以上が、戸川長野断層の評価に関する資料の変更点となります。
0:21:46	資料の説明は以上となります。
0:21:52	規制庁西木です。質問ありがとうございます。それでは資料についての確認の方を進めさせていただきます。
0:22:04	はい。規制庁のカイダです。
0:22:08	各説明ありがとうございます。今回差分のところをメインにっていうことで、説明されたってことで、こちらからの確認もどちらかというところ、そういったところが中心になるかもしれません。他にもありますけれども、
0:22:23	ちょっと全体を通して、確認をさせていただきます。
0:22:28	まずは東京の差分とは関係ないんですけども、
0:22:34	反射法の探査結果、これ、65 ページ。
0:22:41	とかですかね、そこだけではないんですけども、
0:22:45	あるんですが、すいません。
0:22:49	65 ページから数ページにわたってあって、そのあとにまた M 測線というのはまたちょっと後の方にあるんですけども、
0:23:00	ちょっとこれ資料で確認したいんですが、今、福村断層の延長部はここですか、そこにありませんというな、そういう観点で線が書かれてるんですけども、
0:23:13	これ探査記録を見たときに、
0:23:17	福浦とは関係ないけど、断層っていうのがあるのかなのかとか、そういった解釈っていうのは、
0:23:25	はい。入れてないんでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:29	例えば海域とかだったら
0:23:31	何とか断層の延長と関係なく、一応あればもう線を引くっていう形での資料の示し方かと思うんですけども、
0:23:40	今回は、
0:23:42	福浦しかないというこういう解釈なんでしょうかちょっとまずそこの辺を前提条件でお聞かせいただきたいんですけども。
0:23:51	よろしくお願いします。
0:23:54	はい。北陸電力の小林です。反射法地震探査の結果ですが、基本的には認められている断層が福田断層、あと、
0:24:05	測線ではS1の方も記載がありますが、基本的には今書いている断層しかないというふうに考えておりました、この反射面の記録を見ていきますと、やはり
0:24:17	反射面の不連続があつてかつ、その周囲で反射面の乱れがあつて、
0:24:22	それがある程度浅部方向、深部方向に続くというものを売っていくと、今、
0:24:28	解釈線として示している副断層であったり、スイッチのところですね、そういったもの。
0:24:35	しか今読めないというふうに判断しております。以上です。
0:24:45	はい、相田です。
0:24:47	わかりました。
0:24:48	逆に福浦もえっと、なかなかそこが読めるのかっていうところもこう書いてあるんですけどもそれはやっぱり、
0:24:59	調査結果がなくても、地質調査の結果がなくても、純粹にそこにはやっぱりかけるという、つまりは反射法探査だけで、断層の有無っていうのが、
0:25:11	ありますとか、ここにありませんっていうのが判断できてるという、そういった前提なんでしょうか。
0:25:19	北陸電力の小林です。
0:25:21	基本的にそういった前提で考えておりました、やはり福田断層ですと、反射面の不連続があつたり、あと、その不連続の付近で、
0:25:31	反射面がある程度系統的に傾斜しているというような状況がよく認められるというふうに考えておりました、反射断面の方から線を入れているということになります。以上です。
0:25:48	はい。カイダです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:49	わかりました一応そういう前提の資料だということで
0:25:56	引き続き確認をしていきたいと思います。
0:26:04	続きまして、
0:26:07	80 ページ。
0:26:10	お願いします。
0:26:17	80 ページのこの、
0:26:20	これ福浦断層の南のところの、
0:26:24	総括表みたいな形かなと思いますけれども、
0:26:32	ここに、
0:26:34	図の方には、F D5 とか、4 とか 5 とか、
0:26:40	あと 7 とか、
0:26:43	ルートマップG っていうのも、範囲の中にはルートマップのところに色がしちゃうんですけれども、
0:26:52	そこにはないんですよっていう情報はこの、
0:26:57	今日っていうかこの 80 ページのまとめ表からわからないんですけれども、
0:27:02	ラインであればないという形で、
0:27:06	全体表に反映した方がいいと思うんですけれどもこれは
0:27:12	んとどうなんですか。今、あえて入れてないっていうことでしょうか。
0:27:20	はい。
0:27:21	北陸電力の木村です。
0:27:23	今ほど言われました。OS の
0:27:27	後から、
0:27:28	56789 までにつきましては、
0:27:33	前のページの、79 ページに、ステップ 1 から、
0:27:39	ステップ 4 という所、流れていうのがありまして、
0:27:44	今の、
0:27:46	S5 から 9 っていうものは、
0:27:49	これとは別に、大坪小河ダムきつと掘削面で確認したシームの調査という位置付けで、
0:27:57	実施した。
0:27:59	ということもありまして、ちょっと 80 ページの、
0:28:02	表の方には、記載はないんですけれども、
0:28:06	実際福浦断層に対応する断層が、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:11	ないということは確認しておりますがルートマップGにつきましても、
0:28:18	断層がないということは確認しております。
0:28:23	北陸電力の野原です。小板橋。
0:28:27	はい。はいどうぞ。すみません。少し補足いたします。
0:28:31	福田断層の南端の止めとしております今のF D1 とかルートマップF というのは、
0:28:37	その南東のジャストポイントのところとしての一覧表にお示ししました。
0:28:42	そのジャストポイントから外れておりますF D547、あとルートマップG、こういったものは一覧表に入れておりませんでした。カイダさんおっしゃる通り、そういったものも一覧表に加えた方がわかりやすいと。
0:28:55	思いますので、次回の資料にはそういったものを加えてこの一覧表、修正したいと思います。以上です。
0:29:06	はい。カイダですわかりましたじゃそれよろしくお願いします。先ほどご説明いただいたOSの話は、私、OSの
0:29:16	意見を言ってんじゃなくて今野原さんがおっしゃったように、FD-4、7号の話とあと、ルートマップGの止めのふくらのためのことですので、
0:29:28	その点はちょっと説明が食い違ってたのでそこは確認させていただきました。
0:29:37	引き続きなんですけれども、
0:29:42	その80ページの表に、
0:29:45	水温ですかこれちょっと資料の確認なんですけれども、80ページ、
0:29:54	S4、
0:29:57	ていうのが、S4の
0:30:01	東側上の東側っていうところをS4でし、
0:30:05	確認深度40.6から40.63で、
0:30:09	走向傾斜がN4Wを55、SWっていう。
0:30:14	のがありますんで、詳細は83ページにということで、その辺りの、
0:30:21	詳しい状況というのが83ページにあるんですけれども、
0:30:27	まず
0:30:29	ここの走向傾斜の値っていうのは、
0:30:32	補足説明資料の、前回、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:37	配付いただいた資料3、
0:30:39	ですかね。
0:30:41	ボアホールテレビの画像の情報があって、そこに主立ったところの走向傾斜というのは1点ですけども、
0:30:50	この40.60のところ、S4で、何も走向傾斜の値と書かれてないんですけども、
0:30:59	これはどっから出てきた情報なんでしょうか。
0:31:05	前回の資料でいくと、1-2-281ページにボアホールの、
0:31:13	テレビの画像1-2-281です。
0:31:18	データ集ですか、データ週間。
0:31:23	その代わりに、そのすぐ下に全然関係ないところに走向傾斜がまた違う値の4であってですねこの辺りの、
0:31:30	関係するのはよくわからないんですけども、根拠となるデータどれなのか教えていただけますか。
0:31:41	北陸電力木村です。すみません。83ページの方に、
0:31:48	S4項の40、
0:31:51	40.60の破砕部の走向傾斜の値、
0:31:57	ボアホール画像をちょっと左の方につけておりますけども、そこにN4W55SだんSWという値を記載しております。
0:32:08	それからデータ集のほうなんですけども、データ集のほうにボアホールカメラ数を、
0:32:15	つけておるんですけども、そちらの方には、
0:32:20	今ほどのこの値を記載。
0:32:23	ちょっと漏れておりましたので、
0:32:27	次回、ちょっと聞きたい。
0:32:30	たものを、添付、
0:32:32	したいと思います。以上です。
0:32:38	はい。規制庁のカイダです。わかりましたじゃ
0:32:43	ちょっと似たような値なものがちょっと下にも書いてあって、どっちが、
0:32:48	裏と考えてるのかっていうのも、データ集と、この本資料で整合がとれてないのでそこは確認していただきたいと適正化していただきたいのと、
0:33:00	あと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:03	そもそもこの
0:33:07	OS4行のこの
0:33:11	今、倉断層っていうされてる破砕部なんですけれども、
0:33:15	これ結構ちょっと他のところと大分様相が違っていて、
0:33:21	非常に破砕部としても、
0:33:25	何か、
0:33:26	そこにあるのかないかわからない。
0:33:29	ぐらいです。ですし、
0:33:32	記載を見ても、固結した破砕部っていうふうを書いてあって、
0:33:38	福浦断層だと、
0:33:41	何て言うんすかねあの粘土状の破砕部が、
0:33:44	あるっていうのと、大分特徴が違ってるといっても、
0:33:48	見えるちょっと資料から見えます。
0:33:53	ちょっと他の
0:33:56	福原断層かそうじゃないかっていう検討されてるところだと。
0:34:00	走向傾斜が似ていても、固結した破砕部しかなくて、
0:34:06	粘土状の破砕部がないんでこれは特徴が違うから、福浦ではありませんという説明も、
0:34:12	別の
0:34:14	ラーソン破砕部ではされてたりします。
0:34:20	このS4の、この
0:34:24	浅井部っていうのは、
0:34:28	なかなか、福村とも似てないようにも見えるんですけども、これ、なぜこれをPRAとしたかっていうのをちょっと改めてを、
0:34:38	もう少し、今説明いただけますでしょうか。
0:34:45	北陸電力の木村です。
0:34:47	S4の40.6の破砕部なんですけども、今カイダさん言われた通り、固結した性状しております、
0:34:57	破砕部としても変形が非常に弱いと。
0:35:01	で、他の福浦断層を確認したところ、
0:35:05	に比べても、粘土状破砕部がなかったりですとか、性状は異なるということは、我々も同様に見ております。
0:35:13	ただ、この確認した位置、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:16	平面図に落としますと、ちょうどリニアメント変動地形の位置に対応する位置、
0:35:24	確認されていると。
0:35:27	総合傾斜も、福田断層と調和的であるということから、
0:35:33	この 83 ページの下の方の記載。
0:35:37	あり、下の四角の箱書きに記載しておりますけども、そういった理由から、安全側の判断として、福田断層の東側に対応する破碎部として、評価しました。
0:35:50	その他の破碎部について、
0:35:53	性状が、福田断層と異なるということ。
0:35:57	も見ておりますし、あと総合傾斜が福浦断層と異なる。
0:36:01	それから、連続性に乏しい。そういったことも合わせてチェックしまして、
0:36:10	それ以外に確認した破碎部については、
0:36:12	福田断層に対応するものではないというふうに評価しておりますけども、この S4 項の 40.0 の破碎部、
0:36:22	は、性状は福田断層と異なるんですけども、確認した位置が、リニアメントと対応するということから、
0:36:31	これは安全側の判断として、
0:36:35	上田断層と評価したと。
0:36:37	いう、そういったものでございます。
0:36:39	以上です。
0:36:44	はいカイダです。
0:36:46	そうですね。ちょっと 83 ページの下にも今書いてあるんですけども、
0:36:54	安全側の判断ということ。
0:37:00	評価されたと。
0:37:04	その点はわかりました。
0:37:08	で、結局、
0:37:12	そうですね、ただここ、
0:37:14	より南には続かないという評価が次の断面でしてあるということですね。
0:37:21	わかりましたじゃ、
0:37:23	そういう位置付けで

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:25	このS4の、
0:37:28	評価がされてるといのは一応資料上確認してもしました。
0:37:38	引き続きですけども、
0:37:45	90ページをお願いします。
0:37:54	9ページの絵と右側に、これ、CTスキャンの画像があるんですけども、
0:38:03	これちょっとただ、
0:38:06	資料上だけの話かもしれませんが、
0:38:09	ちょうど破碎部のところでこうつなぎ目になってるんですけど、これ、
0:38:16	そこなんか透視で撮ったようなのっていうのはないんですか。やっぱもうここでちょうどつなぎ目になっちゃったので、今こうなってるという。
0:38:24	ことで、
0:38:26	でしょうか。
0:38:29	北陸で、
0:38:30	グループ電力スモリです。
0:38:33	PP画像とかもなんですけれども、基本的に25センチ刻みで整理をしていまして、その中で今ここはちょうど
0:38:43	15メートルから25センチいた14.7メートルの位置に当たるので、ちょうどその区切りになってしまっているというのが、実際この作業の状況なんですけれども、
0:38:53	つなげたような形での資料修正というのができますので、わかりやすいようにちょっと適正化を図らせていただきたいと思います。以上です。
0:39:02	はい。規制庁のカイダです。わかりました。これ、できればぐらいの話ですので、仕様上無理であれば
0:39:12	わざわざまた取り直すということもなくて、そういったふうに注記でもしておいていただければ結構です。
0:39:20	引き続きですけども、
0:39:25	95ページのまた、福浦の連続性の確認のところで、
0:39:34	確認、もうこれたくさん破碎部があってそれが福浦かどうかっていうことの検討されたんですけども、
0:39:43	この中を見ていて、ちょっと気がついたのが、
0:39:50	OS2行。
0:39:52	ていうのの、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:00	破砕部 17 っていうのがあって、これだと
0:40:06	そうかな。
0:40:07	一覧表があったと思うんですけど。
0:40:11	ちょっといいよ。
0:40:16	次のページですか 96 ページに、
0:40:19	S に河野浅井分 17 っていうのが、
0:40:24	破砕部があって、
0:40:30	倉断層と対応するような走向傾斜で、
0:40:35	青色が示してあるけど、
0:40:38	隣接校を S 3' のそいて震度。
0:40:43	2 ぐらいので、浦断層ではないっていう説明かなと思います。
0:40:52	で、ただちょっとその辺の、
0:40:58	説明が、
0:41:00	ちょっと待ってます。
0:41:03	89 ページに断面図があるんですが、
0:41:20	それよりも、
0:41:22	補足資料の、
0:41:25	2-2-1 の 114 ページ。
0:41:29	補足資料の、
0:41:31	2-2-1 の 114 ページ。
0:41:48	えっと、ここに今、細部 17 の連続性というか、青色で、
0:41:55	この位置ですっていうのが示してあって、
0:41:58	S 3' 孔の想定延長位置っていうのが、
0:42:06	今、緑色で示してあるところですかね。
0:42:10	さっきの
0:42:16	資料 1 の 89 ページ。
0:42:21	と見比べてみると、
0:42:25	木曾、さっきの補足資料の想定延長位置って書いてある。
0:42:31	緑色のところと、
0:42:34	この資料 1 の福浦断層の見つかった位置っていうのは、
0:42:40	ほとんど一緒のような、にも見えるんですけども、
0:42:44	補足資料だとそこに、
0:42:48	破砕部がないっていうようなことが書いてあって、
0:42:53	これは断面上、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:58	出てきても全く不思議じゃないようにも見えるんですけども、これ違うっていうふうに、浦断層じゃないってされた、ちょっと、
0:43:06	その辺りの事情というか、検討、内容を教えていただけますか。
0:43:17	はい、北陸電力スモリです。
0:43:19	この17番、96ページの17番ですけども、青色で書いてあります通り、風雨断層と走向傾斜が対応する破砕部だと考えております。
0:43:29	未固結部門、0. 新美碓井2001ながら挟在してまして、赤田さんご説明いただきました、補足資料の2.2-1の114ページの断面図見ましても、
0:43:43	今大江さんたちで見られている。
0:43:46	福田断層と我々評価している場所というのが、
0:43:50	28.32から28.35メートルと。
0:43:53	いう形でして、そこは、数メートルの離隔があるという、
0:43:58	ところで、
0:44:02	福田断層と
0:44:05	このナンバー17の破砕部を伸ばしたところが、1度は少しずれていることから、福田には対応しないという評価を現在してございます。
0:44:15	以上です。
0:44:21	はい。カイダです規制庁のカイダです。
0:44:25	ちょっと数メートルっていうので
0:44:29	今、
0:44:31	ちょうど両方とも、標高40メートルよりちょっと下ぐらい。
0:44:36	かなと思ったんですけど。
0:44:38	やっぱ、大体そのぐらいだったらこっだけ離れてたら、
0:44:42	さっきのアンゼンガワニって話もあったと思うんですけど、評価してもきでもないかなと思ったんですけど。
0:44:50	特に性状が違うからとかじゃなくてやっぱりずれがあるからっていうところ。
0:44:56	の説明ということでよろしいですか。
0:45:02	はい。北陸電力の野原です。
0:45:04	今川田さんおっしゃった通り正常という観点ではなくて、ずれという観点で、現状、これは福田断層に対応しないものと評価しておりますが、
0:45:14	もう一度ですねその安全側の評価、そういった観点も含めまして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:19	このOSLで見つかった破砕部が福田断層に対応するかどうか、改めて検討したいなと思います。
0:45:28	以上です。
0:45:30	カイダですわかりましたじゃ違うものを無理やりつなげるっていう必要もなくともう1回ちょっと、そういう、今、今ほど申し上げたように、あんまり一見すると近いところにあるようなのに、
0:45:43	なぜかなという疑問があるので、そのあたり、改めて検討いただいて、結果どうか、なるかはちょっとまた別としてまた、検討いただきたいと思います。
0:45:57	ちょっと観点は、はい。どうぞ。関連で、私もこれ気になっててその想定院長位置をどういうふうに確認してるのかっていうのが、
0:46:09	何か説明がなくて今何か、
0:46:11	数メーターっていうは何メーター。
0:46:14	ちょっと、ちょっと意外な回答だったんですけど、これ
0:46:19	何て言うのかな。
0:46:20	想定延長位置にありませんでしたっていうのはどういう範囲を確認し、するっていうルールでやってるのかっていうのは、ちょっと資料上わかるようにして欲しいんですね。
0:46:31	お願いします。
0:46:34	今、このルールって何かあるんですかその想定延長位置は、こう伸ばして行って、何メーター区間を確認しているんだとか、或いは伸ばしていく。
0:46:46	範囲を何度ぐらいぶれた範囲で確認してるんだとか、そういうルールは今、どんな、どうなってますか。
0:46:55	北陸電力の石田です。
0:46:57	そちらにつきましては、
0:47:01	経営者の方から、
0:47:02	±5° のミュレーションを、想定延長範囲ですね、ということで、1のブレからその範囲を確認していると、いうような、
0:47:13	検討を行っております。
0:47:15	記載につきましてはこれについては記載されてませんのでそれについては、記載を、
0:47:20	追記したいと思います。
0:47:21	以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:23	規制庁谷ですはい。その後5度っていうのは何から出てきてるんですか。
0:47:29	エリアで決めてるようなものなのか、何か根拠があって、を導入してるのか教えてください。
0:47:39	北陸電力一緒です。
0:47:41	これにつきましては、もともと敷地内断層のあれもありますけれども、
0:47:49	敷地内断層の連続性を追いかけるときに、作ったルールで、
0:47:55	ある程度のぶれの範囲ですね、を考慮しまして、福田断層につきましても、もともと北方向の方で見つけた、副断層のデータから、概ね5度の範囲を見れば、
0:48:09	問題ないという判断から合同というあたりで、検討を行っております。以上です。
0:48:16	はい。お考えを確認しましたのでちょっとその辺の考えがわかるような資料にさせていただけたらと思いますお願いします。すいませんカイダさん止めちゃって。
0:48:27	はい、甲斐です。わかりました。
0:48:29	今、ちょっとその関連で、95ページを見ていただくと、
0:48:36	上の箱書きとかその下の
0:48:41	何か※1とかでは、
0:48:46	30とか15とかそういったのを、
0:48:49	値も出てきてるんですけれども、
0:48:51	この辺との関係とその今の神戸っていうのは、
0:48:56	どういった関係になるのかちょっと、ちょっと今わかる限りで教えていただけますか。
0:49:03	グループ電力一緒です。
0:49:05	こちらにつきましてはまず、先ほどの断面図のような、図学上で、想定延長範囲、
0:49:12	どの範囲に福良断層と想定する破碎が出てくるかという意味で、先ほどおっしゃる言いました経営者プラスマイズ5度という範囲で、まず、
0:49:22	錆があるかどうかという検討を行います。
0:49:24	で、その中に破碎部が見つかった場合、点データ同士の比較ですね、ボアホールの数値の点データの比較としては、
0:49:32	やはり点データですね、さらにブレが大きくなると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:36	ということが、我々、調査の経験上わかっておりますので、さらに余計に案じレーションを見まして点データの比較の場合は、こちらの95ページの記載にありますように総合±30° 傾斜プラムインス15の丹治レーションで、
0:49:51	対応するかどうかということを確認してございます。以上です。
0:49:58	はい。カイダです。わかりましたここちょっとそういった段階を踏んで、
0:50:03	検討されてるってということ、段階っていうかその時と場合に使い分けてってことだと思うんでその辺りもわかるように、資料を、
0:50:15	作り込んでいただきたいので、
0:50:19	よろしくお願いします。
0:50:23	あと、引き続きですね
0:50:30	140ページをお願いします。
0:50:41	140ページは断層の評価ってということで、今回ちょっとまた新しくデータも追加された。
0:50:51	それも踏まえての結果ということ。
0:50:54	金戸。
0:50:55	えっと考えてますけれども、
0:50:58	ちょっとまず全体的な考え方として、衛藤。
0:51:06	いろいろ連続性とか、そういったところも検討されてると思うんですけどその黄色い箱の中で、
0:51:13	断層は連続性に乏しい断層であると、そういった検討もあったと。断層の活動は、福浦よりも相対的に古いと、これは切られているということ。
0:51:26	を言ってるのかなと思うんですけども。
0:51:30	ゆえに、
0:51:32	後期更新世以降の活動がないと評価したというところのこの、
0:51:37	繋がりが、
0:51:39	ちょっとなかなかわからん部会づらいというか、ここの辺、行間が大分、
0:51:46	飛ばされているのか。
0:51:48	少なくとも、
0:51:50	浦断層っていうのは今回、どっか、47ページから47ページとかで、
0:51:59	もう最近の現世までの日、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:03	活動があるっていう評価になってて、もう1個前の表、活動時期も、
0:52:08	今12万年前ぐらいっていうことで、
0:52:12	福浦断層はかなり最近まで動いたという評価になっていると。
0:52:18	それを、
0:52:19	に切られているから、
0:52:21	とって、
0:52:24	後期更新世以降の活動が、
0:52:28	僕らよりは後じゃないにしても、
0:52:33	クーラー、後期更新世以降の活動がないと評価するっていうそのの、
0:52:38	繋がってるっていか、考え方なんですけれども。
0:52:42	当然、
0:52:43	もし、
0:52:44	六浦を完全に突っ切っていれば、福村湯浅らしいというのがあるんですけども、その逆がいえるかというところでもないような、
0:52:54	気もするんですね。
0:52:56	この辺りの、この黄色の部分の考え方っていうのを、ちょっと改めて説明いただけますか。
0:53:10	はい。北陸電力木村です。
0:53:13	断層の活動は福浦断層よりも相対的に古いということをもって、後期更新世以降の活動はないと、評価しているわけではなくてですね、
0:53:26	断層の活動は相対的に古いというのは、
0:53:31	ボーリング調査、今回行ったOS急行ですとか、
0:53:37	そういったもので、福田図を越えて連続しないということから福田断層に切られていると。
0:53:43	判断したということで、福田断層よりも相対的に古いというふうに評価しておりますし、
0:53:49	それから後期更新世以降の活動はないという評価につきましては、
0:53:57	上の四角の箱書きの一番下の丸の記載ですけども、地形調査の結果、
0:54:03	断層を挟んで、曾我ダム右岸と左岸に分布する高位段丘I b面に高度差は認められないと。
0:54:11	いうふうにあります。ありますが、これをもって、公表して以降の活動はないというふうに評価をしております。
0:54:22	ですので、ちょっとこの二つのことを一つの文章にまとめて記載したので、少し

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:32	あまりづらくなっておりましてちょっと申しわけなかったんですけども、断層の活動は福田断層よりも相対的に古いということと、断層は高評遷移以降の活動はないと評価したということと、
0:54:46	あと二つ。
0:54:47	言いたいことがありましたので、それをちょっと分けて記載するようになりたいと思います。以上です。
0:54:57	はい。規制庁の甲斐です。わかりました。ちょっと言わんとすることはわかりました。ということは今、
0:55:08	これ、活動性があるかないかも、
0:55:11	Aと評価っていうのは、
0:55:13	地形的な特徴から、
0:55:17	そこは3で、
0:55:20	高度差がないっていうそこが一番メインになってるっていうことですか。
0:55:29	はい。その通りです。
0:55:31	その他の薄片観察で今回、層状構造が認められないですとか、
0:55:39	佃断層を越えて、ボーリングで認められないですとかそういったことも確認しておりますが、そう。そういったことは、
0:55:48	断層が、高校生以降活動していないということと整合的なデータであるというふうに考えております。以上です。
0:56:02	はい。カイダです。
0:56:04	わかりました。で、今のこの説明で、
0:56:08	地形の評価がメインで、
0:56:12	他のものはちょっとこう、まあ整合的になってというのがどこで読み取れるかっていうと、
0:56:21	ちょっとんと。
0:56:23	少なくとも140ページではこう、
0:56:26	どれがこう、
0:56:28	メインで、どれが整合というかそのサポートする情報かっていう。
0:56:34	辺りがわからないんですけども、どっか他のページで、
0:56:39	書いてあるんであればちょっとそこを教えていただきたいんですけども。
0:56:46	北陸電力の野原です。
0:56:48	140ページに書いてあります断層の活動性というところを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:52	しかしそういった記載はございません。
0:56:55	今ほど木村から説明した通り、この断層の活動性という中に、その一番最後の丸の地形調査がメインで、三つ目と二つ目のものも加えて、
0:57:07	総合的に活動性がないというような今資料構成にしておりますが、
0:57:13	細かくこれをさらに分けようと思ますと、三つ目の地形調査が活動性のメインの評価。
0:57:20	そして、一つ目のマルですとか二つ目のマルというのは、それを整合するというような、そういった結果になっておりますので、
0:57:28	次回の資料にはそういったことがわかるように、資料の方、修正したいと思います。
0:57:34	以上です。
0:57:38	はい。規制庁の甲斐ですわかりましたさっきの黄色のところも、
0:57:43	また書きぶりを
0:57:45	直すってということなのでその辺も含めて
0:57:49	資料の方の説明が誤解のないようにというか、伝えたいことがよくわかるような形でお願いします。
0:58:01	で、
0:58:03	ちょっと断層をについて、
0:58:07	別の観点なんですけれども、
0:58:11	今回、新しく出てきたデータとしては、
0:58:17	140
0:58:21	3 ページ。
0:58:23	以降に、
0:58:25	薄片をつくりましたということなんですけれども、
0:58:35	この薄片は層状構造がありませんというところなんです、
0:58:42	ちょっとこの、
0:58:44	144 ページとかを、
0:58:47	言っても、この
0:58:49	すごくひび割れがたくさんこうあって、
0:58:53	そのあたり
0:58:55	なかなかわかりづらいと思うんですけれども、
0:58:59	何か作成の過程でひび割れたっていう方が書いてはあるんですけれども、
0:59:06	福浦断層の薄片ですら何かここまでPRが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:12	なかったと思うんですが、
0:59:14	これ、何かまた、
0:59:16	特徴っていうか、
0:59:19	何か事情があるんですかね、この層状構造があるやなしやというのがちよつとなかなかこう、ひび割れが多くて、
0:59:27	読み取りづらいんですけども、
0:59:30	ちょっと状況を教えていただけますか。
0:59:35	はい。北陸電力津守です。今 144 ページの薄片ですけども、一つ前のページ 143 ページに作成した薄片ああしましたコアの写真を載せております。
0:59:47	このスコアを見ていただきますと、断層を、主せん断面、緑が 14 で書いてますけれどもこの下盤側工程側の方が非常に強く変質をこうむっております。
1:00:00	これがこの
1:00:02	O S 7 行だけでなくこの断層を見つけた、前のページの S 5 ですか、6、
1:00:08	また、146 ページの S 8 というのが、いずれも疼痛の特徴として見られております。
1:00:15	ここは非常に、
1:00:16	すごく変質を受けておられて、福浦も変質を受けてはいるんですけども、やはり比較してもかなりこの断層を付近というのが、
1:00:25	強くこの下盤側の安山岩が変質を受けているというのが、やはり見られる中での、
1:00:31	大きな特徴だと思っております。
1:00:33	この変質の程度というところが、薄片のひび割れにも影響しているのかなというふうには推定しております、
1:00:40	それによって、
1:00:41	この 144 ページの薄片で非常に多い、微細なひび割れが多く見えるというふうにご覧いただけます。
1:00:49	このひび割れについても、やはり
1:00:53	例えば依命の可能性があるとこの観点でももちろん観察はしております、
1:00:58	ほとんどのものが、例えば上から下まで続かないような細かい割れ目が多かったですとか、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:04	比較的続くようなものでも、凹凸形状がバシッとパズルのようにはまるような、そういう形状してるっていうところも確認して、もちろん回転させた上で、粘土の配列というのが見られないと。
1:01:15	こういったものも含めて、観察した上でY面がないと。
1:01:18	いう評価をしておりますので、
1:01:21	変質の影響によって、割れ目は多いですけども、層序福浦のような層状構造がないという評価は、できるのかなというふうに考えてございます。以上です。
1:01:36	はい。
1:01:37	規制庁のカイダです。
1:01:40	わかりましたじゃY面が書いてないのは、そう。そういったところも踏まえての観察結果ということで、
1:01:48	まず、そういった形で数作成されていると。
1:01:54	いう点は
1:01:56	わかりました。
1:01:58	で、
1:01:59	それでその上でちょっと確認なんですけれども、
1:02:05	これ、結構、
1:02:07	方面構造が、
1:02:10	今しっかり見えてると。
1:02:12	いう状況で、
1:02:14	浦野と敷地内断層との違いの説明の時には、層状構造もですけども、方面と構造がある、なしの
1:02:25	っていうのも、それなりの根拠になってたと。
1:02:29	敷地の断層っていうのはあんまり、
1:02:33	方面構造は確かになくてですね。
1:02:36	要は、演出を受けた後にはあんまり動いてないっていうような状況も、あるかもしれないというような、
1:02:46	ちょっとは書いてあるんですけどもあんまりここまでは書いてはなかったように思うんですが、
1:02:52	なので複合構造がこうあるっていう特徴は、敷地の断層とは違ってむしろこう福浦とも近いような、
1:03:03	状況にも見えてくるんですけども、
1:03:07	押す。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:08	この辺りはどうなんでしょうか。特徴として、考慮されるときに、どう いうふうな位置付けになるのか。
1:03:18	確認したいんですが。
1:03:21	はい、北陸電力スモリです。
1:03:23	今は例えば 144 ページの真ん中の拡大写真でお示ししているような、P 面ですとかR場面、こういったものが、
1:03:33	見えてるといふところでは、敷地内で非福田断層とといふところで、
1:03:38	考えてみると、敷地内、
1:03:43	ここは本当にもう全く見えないようなところがほとんどですので、それ と比べると
1:03:47	見えるのかなといふふうには思うんですけども。
1:03:50	P R Aとの違いといふ観点で言いますと、
1:03:52	例えばこの 144 ページですと、Y面、今、一番左の写真で緑で引いてま すけれども、
1:03:59	ここの近くですね、この近くは比較的に見えるんですけども、例えばそ こから離れてやると、全体を見たときに、じゃあそこらじゅうに至ると ころにP面ある場面がはっきり見えるかと言われると、
1:04:11	そういうような特徴は、ないのかなといふふうには今考えておまして、
1:04:16	一方福田断層ですと例えば 149 ページ見ていただきまして、右の、
1:04:23	福田断層の方の日、特に右下ですね、例えば大坪川ダム右岸トレンチの 薄片を示しておりますけども、
1:04:30	こういったところだと、断層ガウジ中でも、
1:04:35	広い範囲でといえますか
1:04:38	複合面構造が見えております。今お示ししている S78 の各園では、
1:04:44	他の
1:04:45	断層ガウジの中央部ではどうなんだといふところがちょっとわかるよう な資料にはなっていないのは申し訳ないんですけども、
1:04:52	そういった観察結果も比較としては使えるかなと思っております、
1:04:56	なので、全体としての
1:04:58	米合同の密度ですね、ていふ観点では、
1:05:02	これは断層よりは、断層の方が劣るのかなといふふうには考えてございま す。以上です。
1:05:13	はい。規制庁のカイダです。
1:05:16	敷地の断層とは、違うけど、クーラとも違うっていふような説明。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:22	だったと思うんですが、
1:05:25	複合面構造も、敷地内断層ん時は、結構それなりの後、
1:05:32	市のデータみたいな形での説明もされてたので、こっちも
1:05:39	その辺の考察みたいなところは少しは記載をしておいていただきたいので、
1:05:46	そこは今、ご説明もあったと思うんですけども、
1:05:51	それは資料からわかるように、
1:05:55	記載をお願いしたいと。
1:05:58	思います。
1:06:00	悪へんで、結局敷地内でやったような、何か迷惑が横断するようになって いうのは、
1:06:08	要は横断とか充填っていうのは、
1:06:11	わかってなかったのですかね。例えば 144 ページとか、
1:06:17	147 ページとかでも、
1:06:21	隔離してる場所は確かにあるんですけども、
1:06:24	くっついてるようなところだって、例えば 144 ページでいきますと、
1:06:36	薄片の一番下の、
1:06:39	左の
1:06:42	左の写真でいくと、一番下のところで、
1:06:46	くっついてるけど、緑の線が取り入れているようなところがあったり、
1:06:51	147 ページでも、衛藤。
1:06:56	今緑の線が、
1:07:00	重ね書きしてあるのでなかなかわかりづらいんですけど、左の下の写真 でいくと、
1:07:07	上から、うん。
1:07:10	何て言いますか。
1:07:11	三分の 1 とか 4 分の 1 ぐらい来たところ、
1:07:16	とか、あと
1:07:19	左側の、
1:07:21	最新面っていうか、この緑色の Y 面、
1:07:26	そういったところでびたっとくっついてるようなところで、
1:07:30	何かなかったんでしょうか。これは
1:07:35	ちょっとその状況を教えていただきたいんですか。
1:07:40	はい。北陸電力津守です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:42	例えば、147 ページの S8 のやつで、派遣で言いますと、時計で部分的に細かく途切れさせているところはあるんですけどもこれは空気を取り入れさせているところもありまして、
1:07:56	基本的にはその細かい割れ目が続いているというような形で、やはりこの区域の影響で横断しているかどうかというのはなかなか判断できないかなというふうに、
1:08:07	考えております。
1:08:09	これは 144 ページでも、基本的には同じことを言えまして、
1:08:13	またこの下の方で今 Y 面を
1:08:16	途切れさせているというところが、比較的広い範囲で見えるんですけども、
1:08:20	こちら、
1:08:22	ここの部分をですねちょっと細かい割れ目があって、
1:08:28	要は Y 面が続くとはこの部分はねないようには観察できているんですけども、この割れ目の影響でしっかりと横断した脈が示せるかと言われると、少し
1:08:41	いわゆる敷地内でやっていたような鉱物脈というようなものが、
1:08:45	出せるような状況ではなかったもので今回、お示しできていないという形になってございます。以上です。
1:08:55	規制庁のカイダです。わかりました。
1:09:02	敷地の、
1:09:04	コア何とかよりも、
1:09:06	演出がより強いということなので、
1:09:11	そういった脈みたいのがむしろこっちの方が、
1:09:15	出やすいというか、探せばこうぽんぽん出てくるのかと思ったんですけどやっぱり、
1:09:22	こういった形でひび割れも多くて、
1:09:26	なかなか状況が、
1:09:29	同じような検討は、
1:09:31	難しいというような、
1:09:33	ことかなと。
1:09:35	状況はわかりました。
1:09:39	で 147 ページをちょっとまた同じような話ですいません、147 ページを。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:47	出していただきたいんですが、出していただきたいというか見ていただいて、
1:09:54	左下の写真、
1:09:56	今、
1:09:57	緑色の線がこうずっとこうパカッと割れたところを書いてあるんですけど、
1:10:03	むしろこう色の境界みたいなのは、特に半分より下の部分なんていうのは、
1:10:12	追われたところよりも少し、
1:10:14	何つうか、そのスケールバーでいくと、
1:10:18	34 ミリ、肥後三好五味。
1:10:22	右側ですか。
1:10:24	ここに黄色いと、何とかもうちょっと黒っぽいところの色境界ってのはそっちにあるんですけども、
1:10:32	そっち最新面っていうのは、
1:10:34	やっぱり壊れたところで、その
1:10:38	このくっついたところの医療協会ではないっていうのは
1:10:42	確認はされてる、確認した上で、今そこを引かれているということです。
1:10:49	はい。北陸電力津守です。例えば 147 ページの真ん中の、
1:10:55	写真。
1:10:56	拡大写真ですねこれ見ていただきますと、これの黒須の方に直交ニコルの方に見ていただきますと、
1:11:02	今ワインを引いているところの、
1:11:04	これが今右に区切りがあってその右側が、今、カイダさんがご指摘いただいた、その医療協会と言うところの、
1:11:11	断層ガウジ側じゃないかというような、ご指摘あったところですけども、
1:11:16	ただここでもう少し分かるようにこの断層ガウジというふうに書いている側と、この下栗城の方で、
1:11:20	少しその細粒化の程度ですとか、
1:11:23	変質の状況っていうのは、こういうふうに拡大してみるとちょっと変わって見えます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:30	こういう話ですとかその色境界のように見えてるところもちろん観察しておりますけれども、非常に漸移的。
1:11:36	こういうふうに了解です。
1:11:38	危機だとちょっと、
1:11:40	何か数字があるように見えなくもないんですけども、拡大してみると、非常に全員の場所になってますので、こういう細粒化とか、平日の状況というところも踏まえて、
1:11:50	今のY面の位置が断層があると。
1:11:53	断層が栗城小の
1:11:55	二つの協会かなというふうに考えて記載しております。以上です。
1:12:03	はい。規制庁のカイダです。
1:12:06	わかりました。じゃあ薄片は
1:12:09	今、
1:12:11	おっしゃったように、
1:12:15	複合面構造がないってところを主に確認して他はちょっとなかなか、
1:12:21	脈だとかってというのは、探したけど、
1:12:25	見つからなかった状況だということで、
1:12:31	確認しました。
1:12:34	で、複合面構造の考え方についてはさっき
1:12:39	口頭で説明あったようなところは、
1:12:42	また追記をしておいていただきたいと。
1:12:46	ということでよろしくお願いします。
1:12:50	あと、はい、承知いたしました。
1:12:53	はい。お願いします。
1:12:54	それと引き続きまた断層の話なんですけれども、
1:13:00	150
1:13:04	bページをお願いします。
1:13:11	これもまた連続性の話と、今、先ほどの福浦の連続性の話と、似ては来ると言うんですけれども、
1:13:21	150 ページに断面図があってその想定位置に、
1:13:29	あるかないかっていうことを検討されたということだと思います。
1:13:34	152 ページに、
1:13:36	今、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:38	OS9号の中での、
1:13:40	破砕部ってというのが、一応1、⑩まで。
1:13:47	書かれていると。
1:13:49	ということなのですが、
1:13:52	走向傾斜が違ふとかっていう、
1:13:55	それとあと想定位置にないと。
1:13:58	店舗。
1:14:00	あっとみなんですけど、
1:14:10	上の方に、
1:14:12	大坪がダム基礎掘削面のスケッチ結果から50° E73、SEが基準ということで、
1:14:21	70何メートル70メートル前後のところに、これだと出てくるっていう想定で、
1:14:29	見ると、
1:14:32	⑨とか、
1:14:35	あと⑩とかは、
1:14:41	そんな外れたような場所でもないし、
1:14:45	走向傾斜だって
1:14:50	そこまでっていうか近い。
1:14:53	そんなに違いもないようにも、
1:14:56	言い得るんですが、
1:15:01	もともとのこの
1:15:05	150ページの下のところの表にも、
1:15:09	OS、
1:15:11	5から8の中でとられた走向傾斜っていうのは、
1:15:16	もらう。
1:15:18	展示、
1:15:20	それなりにBooreっていうのがあって、
1:15:23	そういうことを考えると、
1:15:27	152ページであるような、9とか11とかその辺りを、
1:15:33	除外したっていうところの考えが
1:15:37	なかなかちょっと今、この資料からは、
1:15:40	わからないんですけども、これもあれですか

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:44	何か基準があって、プラン毎何度とか、そこに該当しないからとか、そういうことなんでしょうか。
1:15:56	はい、北陸電力スモリです。
1:15:58	まずこの9とか10をちょっと、走向傾斜が対応しないというふうに考えたのは、上のポツのところに、N50° E、33° S Eを基準とし、
1:16:09	層厚±30° 傾斜±15の範囲内というところを対応すると考えた。
1:16:15	いました。ここから、この9ですとか10というのは、この基準からは外れているというところで、今回対応しないというふうに書いております。
1:16:26	これについてはまず単純に、破碎部を単体で見たら、走向傾斜という観点で見たら、そういうので対応しないと考えておるんですけども、
1:16:36	その前段としてですね、例えば150ページ見ていただきまして、
1:16:41	150ページの右側の、
1:16:45	真ん中黄色四角の1個下ですね断層の性状加来福浦断層の上盤側と、
1:16:50	書いておりまして、断層というのがこれまで基礎掘削面のスケッチですとか、ボーリングの、S5から8で見られている特徴から言いますと、
1:17:01	非常に特徴的な性状を示してまして、というのが一つは、旧の
1:17:08	大坪ダム湖の左岸の崖、直線的な崖地形にほぼ沿った位置に出現しますよというのが一つ。
1:17:15	また、破碎部を見ますと、上盤側に、
1:17:19	凝灰角礫岩下盤側に安山岩が分布してこの岩相境界に断層があると、この下盤側なんかは強く変質をこうむっているというのが、
1:17:29	走向傾斜というのはもちろん、対応するかという基準なんですけども、
1:17:33	今ご説明したところが断層の非常に特徴的な、
1:17:38	部分になっておりまして、まず、総合傾斜とかを除外したときに、度外視した時にこの直接崖地形に沿った位置にあるか、こういう岩相業界にあるか。
1:17:49	下盤側が非常に強く変質をこうむっているかというところを、
1:17:53	見たときにこの断層をSQ高には、
1:17:56	対応するものがそもそもない。
1:17:58	というのが、まず大きなところとして考えております。
1:18:02	その上で走向傾斜というところで見ましても、層厚±30° 傾斜±15度というのも余裕を見た、値よりを見たといいますか敷地内での実績を踏まえて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:13	ある程度ぶれがあってもこの範囲内に収まるというような考えで、決めた数字ですので、ここからも外れているというところで、
1:18:20	この 90 は、対応、
1:18:24	搬送後に対応するものではないと考えておりますし、11 なんかも、
1:18:28	断層に対応するものではないと、そういうふうに評価しているという、
1:18:33	ことでございます。以上です。
1:18:39	はい。規制庁のカイダです。
1:18:44	そうです。なお、大坪がダム複数の掘削面だと、地質境界になっていて、
1:18:53	その断層を境に、
1:18:56	そういった地質境界っていうのは、
1:19:01	ここにはないと、このボーリング孔にはない。
1:19:05	なかったんですかね O S、
1:19:07	だんだん、
1:19:10	七、八とか 5 とか、そういったものでは見られたんですけど、
1:19:15	9 だけはその記述境界がなかったっていうのが、
1:19:20	そういう状況があるということですか。
1:19:24	グループ電力スモリです。岩相境界につきましては見られてましてですね、左のコア写真のところでは水色の矢印。
1:19:32	右には岩相境界という形で、A B C D F と、
1:19:37	いうところに、岩相業界の位置を明記しております。
1:19:41	この中でも、断層を見られた上盤側の凝灰角礫岩下盤側に、
1:19:47	安山岩というような、そういう分布で言いますと、B、
1:19:52	D、B D、F の 3 ヶ所がそれに対応する場所になります。
1:19:58	さらにですね断層の想定延長位置に当たります 72 メートル付近で言いますと、
1:20:04	まさに F がその付近の当該岩相境界になるかなと。
1:20:08	考えているんですけども、この位置には破碎部は認められないと、いうことも確認できておりますので、
1:20:15	そういった意味で岩相業界にも何もないという評価をしてございます。以上です。
1:20:25	はい。規制庁のカイダです。
1:20:27	ちょっと何度も聞くようなんですけどその地質境界破碎部じゃなくて、
1:20:33	先ほど申し上げたような 11 とか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:36	9とか、そういったところは、
1:20:40	協会じゃなかったっていう、
1:20:42	ことで、
1:20:46	他の
1:20:49	S 5678 とかだと、必ず
1:20:53	地質境界になってるとい、その違いがあるっていうのが、
1:20:59	調査の結果から、
1:21:00	わかるということで、
1:21:02	いいですか。
1:21:06	各電力スモリです。はいその通りでして、今ご説明したような話が 150 ページの方に、整理してございます。
1:21:17	はい。以上です。
1:21:23	はい。規制庁のカイダです。
1:21:26	わかりましたちょっと
1:21:29	文字が多くてちょっとすぐ全部読めばそういうことが書いてあるのかもしれないんですけど、
1:21:39	何かその辺りは、
1:21:43	ちょっともう少しこうわかりやすく書いていった方が、
1:21:47	理解しやすいですね
1:21:51	断層っていうのは、
1:21:54	こういう特徴走向傾斜とか、
1:21:57	だけじゃなくてそういったものがあって、
1:22:01	地形にも現れて、
1:22:04	それはないんだというようなことが、
1:22:08	ちょっとまだこう読み読み具合が足りなかったのかもしれないんですけど、ちょっとその、
1:22:14	辺りは、
1:22:18	ぱっと見、わかるような形での記載をされた方が、
1:22:22	いいかなと思うので、またこの辺りを記載ぶりを、
1:22:26	もう少し工夫していただきたいなと考えてます。
1:22:32	衛藤。
1:22:34	とは言いつつ、この
1:22:36	さっきの話もあったんですけど、クーラーに切られてるから、それをも っていいということでもないというのは、もう十分、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:46	ご承知かなと思うので、これも
1:22:49	補足するデータっていうことであれば、
1:22:53	補足になるような形での
1:22:58	わかりやすい資料にさせていただきたいので、よろしくお願いします。
1:23:06	北陸電力藤田です。150 ページの右側の点線の中に、宇和盤と下盤の少し特徴。
1:23:13	それぞれ書いてるんですけどもそこちょっと比較できるような感じで何か記載。
1:23:18	して、差がわかるようなことと、
1:23:21	151 と 150 の方にもそれぞれの岩相境界とか破碎部が、
1:23:27	どういう評価があったかというのをポイントになるところを少し補足的なところはしっかり補足。
1:23:31	できるようにもう一度ちょっと検討したいと思います。
1:23:36	以上です。
1:23:38	はい。規制庁の甲斐です。そうですね。
1:23:41	何か、
1:23:43	コア写真の下にこう、岩相によって色を使い分けて何かバーつけるとか、そういったふうにすればここがそう協会だっていうのも、
1:23:52	一目でわかるし、
1:23:55	示し方はまた、
1:23:57	お任せしますので、その点よろしくお願いします。
1:24:04	すいません引き続き、
1:24:08	なんですけどちょっとがらりと話を変ってるんですけど、
1:24:13	今日のご説明で、201 ページのところで、
1:24:17	また新しくちょっとこう、
1:24:20	データが増えて、
1:24:22	次に出てくるというお話だったと思うんですけども、追加のボーリングの、
1:24:29	データですね。
1:24:32	これは
1:24:35	ちょっと今どこなんですかね、図上で。
1:24:38	追加ボーリング
1:24:40	っていう、米印の書いてあるところに 0 されてるのかなと思うんですが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:49	これの今状況っていうか、実施状況とかっていうのはどうい
1:24:57	か、どういう状況なのかちょっと教えていただきたいんですが。
1:25:04	北陸電力の野原です。
1:25:06	201 ページの追加ボーリングで米印が書いてある、
1:25:11	追加ボーリングで書いてある文字のそこで追加ボーリングを実施してお
1:25:15	ります。
1:25:17	このボーリングにつきましては、
1:25:24	現在掘削終わりました、その観察中であります。
1:25:27	コアを見る限り、
1:25:32	未固結な浅部ですとかそういったものは認められないと。
1:25:43	また、岩永断層の特徴としましてはそういうふうに個別な破碎部を伴う
1:25:50	ものですので、そういった特徴を有する破碎部は認められないという状
1:25:58	況、そういうところまでは把握しております。
1:26:02	今後、ポーホールへ入れまして例えば走向傾斜ですとか、より詳細な観
1:26:07	察を今後行っていきたい。
1:26:11	と考えておりますして次回の介護そういった場合には間に合わせたいと
1:26:16	いうふうに思っております。
1:26:23	以上です。
1:26:27	はい。規制庁のカイダです。
1:26:30	粗々でいいんですけれどもそういったのがそろそろのっていうのは、
1:26:37	どのぐらい、品証とかもあると思うんですけれども、
1:26:41	どのぐらいになるかっていうのは、確定的なことじゃなくてもいいんで
1:26:43	すけど何か
1:26:49	めどぐらいは、ちょっとお聞かせいただけますか。
1:27:06	はい。北陸電力の野原です。
1:27:13	それと詳細観察十条図の作成含めまして、来週中には終わる予定となっ
1:27:20	ております。
1:27:27	以上です。
1:27:34	はい。規制庁のカイダです
1:27:41	状況はわかりました。
1:27:48	私の方から、ひとまず以上なんですけれども、ちょっと他の人、もしあ
1:27:55	ればお願いします。
1:28:02	規制庁の認識です。ちょっと先ほどの岩相境界との断層の画像のところ
1:28:09	の話なんですけども、これって結局、火山岩、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:17	大きく言えば火山火砕岩ですと、安山岩協会、
1:27:24	協会だったところっていうことが
1:27:27	に断層があるということになったんでそれをS9のところ、その岩相境界の見てあげると、いう話だったと思うんですけども。
1:27:37	ちょっと一応私かがんがん5、
1:27:40	主にこれまで見てきてったところでいくと、
1:27:44	安山岩層と凝灰角礫岩というのはそんなにセットで延々と何期間木の本か、何、続くようなものではなく、いわゆる地質断層の、
1:27:57	地質境界断層と、
1:27:59	このようなイメージでの、その岩相境界での断層ではないような、要はいわゆる弱線、その同じ火山火砕岩の中火山岩類の中での弱線としてそういうものを使っているような、
1:28:14	そういうような感じもするんですけどもそれって、本社としてはそういった安山岩と凝灰角礫岩というものが、
1:28:22	結構そうで、かなり連続して、
1:28:25	繋がってくるような、この地域はそういった特徴があるというふうに考えているというところかどうかをちょっと確認したいんですけども。
1:28:38	はい、北陸電力スモリです。
1:28:40	この158ページを見ていただきたいんですけども、
1:28:46	158ページの方にですね、
1:28:48	福田断層南部の地形図という形で、拡大してこの大坪川ダム左岸付近について、この件についての検討を行っております。
1:28:58	この中でふたマルメボーリング調査、S5から8の結果、断層は凝灰角礫岩と安山岩の地層境界を成し断層を境に、
1:29:08	下盤側の安山岩は変質を受けており、やや軟質であると。
1:29:13	で、この
1:29:14	今田断層がちょうど沿って認められるという、いうお話、ご説明をしました。直線的な崖地形、
1:29:20	これ、
1:29:21	というのが、岩盤の硬軟の差を反映した差別侵食地形であると我々考えてございます。
1:29:28	なんでこれ下盤側の安山岩が非常に変質を受けて、マナイスなので、そういうところが削られてこういう地形ができたのではないかと考えておるんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:36	そういった上で 150 ページの方見ていただきます。戻っていただきますと、
1:29:43	左の調査位置図、これも旧地形図ですけれども、青の点線で四角が書いてあります。この部分が直線的な崖地形が続くと。
1:29:53	続く範囲だというふうに考えておまして、この範囲というのが、この福田断層の西側というこのトレースを、
1:30:00	超えて、連続するような、連続的にこの地形が認められております。
1:30:06	少なくともこの地形が直線的に続くような範囲につきましては、いわゆるその弱線、この今日断層境界のところに出てくると考えるのが、
1:30:15	合理的であろうというふうに考えまして、
1:30:18	その位置で、この S9 というボーリングを実施しております。ここに岩相境界に断層がないというところから、
1:30:27	切られているのではないかとというふうに評価をしたという形になってございます。
1:30:31	以上です。
1:30:33	規制庁西木です。ご説明ありがとうございました基本、基本的乗員上位の考えであるのは、岩相境界であって、片方が風化してやわらかくなってね差別侵食としてできているというのが基本的な
1:30:51	考えが上位にあるということによろしいですか。
1:30:56	はいその通りでございます。
1:30:59	わかりました。次に 150 ページの少し、
1:31:03	確認したいんですけどこれ断層、大沼想定延長位置に、これがないということなんですけども、こうやって、
1:31:12	福浦断層、
1:31:15	が後で動いているというご説明のときに、その福浦断層の、
1:31:22	動きを仮定したとしても、した場合にこの想定。
1:31:28	延長位置に来ているという理解でいいんですか。
1:31:33	今日は福浦断層が、
1:31:34	これもう全然仮の話ですけど、すごい横ずれのものだったら当然そこに来ないわけなんで、その辺どう考えてるんですかっていうのを一応確認したいんですけど。
1:31:54	北陸電力の野原です。
1:31:56	福浦断層といいますのは、条線観察の結果、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:02	80Lということで、縦ずれが卓越した左横ずれ成分を持った断層になります。
1:32:11	仮に福田断層が動いた場合にですね、
1:32:15	そうしますと断層は、
1:32:18	福田断層の下盤側で、
1:32:21	左側に北西側に、
1:32:25	ずれる。
1:32:27	ということになることが考えられます。
1:32:30	で、今回堀田をS Qの範囲といいますのは、
1:32:33	その断層をトレースの
1:32:36	南東側から掘っておりますので、
1:32:39	その他、
1:32:40	仮に断層が福村の影響で動いていた場合は、
1:32:43	もう少しこの大槻よりも北西側の方に出てくるのではないかと、というような想定をしております。
1:32:52	以上です。
1:32:58	規制庁西ですということはこのOS、旧の香田と届いてない可能性があるっていうことをおっしゃってるように、間聞こえたんですけども。
1:33:07	そど、その認識では違うんです。
1:33:14	縦ずれ成分が卓越しておりますので、基本的にはそこまで、
1:33:19	あちら側にはいかないと思います。今回のこのOS急行も、
1:33:25	45メートル。
1:33:27	町が少し、
1:33:32	8メートル。
1:33:33	8メートル分余長余計に下盤側に、下盤側ですか、西側の方に行ってますので、
1:33:41	その範囲はないということがいえると思っております。
1:33:46	以上です。
1:33:51	規制庁谷ですな。何か私もですね実はその辺のところ気になってて、断層っていうのは、福浦断層に切られていると言いつつ、
1:34:03	なんです地形的な特徴自体は、福浦断層よりも、東の方まで続いていますよと。で、何かさっきの話を聞くと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:13	そもそもこの直線的な崖地形っていうのは、地質が違うからできた差別侵食であってっていうのは、要するに、断層が、後でできたような言い方、
1:34:25	さん、地質境界はずっとあるんだけど、そのうちの一部が断層がある断層あるってのは西側、そういう説明をされてるってことでいいんですか。
1:34:48	すみません聞き方悪かったですね。
1:34:51	福浦断層よりも東側でも、土地、地質、地質境界もあるしそこには断層が通ってるっていう、基本的な考えなのか。
1:35:02	それがずらされているっていう話なのか、それとも、福浦檀、何ていうんす地質境界の一部だけに断層があるっていう、そういう話なのかっていうのがちょっと、
1:35:13	説明聞いててよくわからなくて、
1:35:16	説明してもらえますか。
1:35:28	北陸電力の木村です。福田断層の西側で実施した、S5678の結果を見ますと、
1:35:38	その地質境界の位置に断層が、
1:35:41	ありました。
1:35:43	なので、
1:35:46	地質境界、
1:35:48	差別侵食、
1:35:51	このような崖地形を、
1:35:54	作った。
1:35:55	ということが考えられます。一方、福田断層西側の
1:36:02	下盤側のOS9項につきましては、
1:36:06	地質境界はあったんですけども、
1:36:11	断層が、
1:36:13	なかったと。
1:36:14	断層がここまで続いていなかったと。
1:36:18	いうことで、
1:36:19	こちらにつきましては、
1:36:22	浦断層の西側、
1:36:25	もう上盤側。
1:36:27	このように、その断層の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:31	ところで、地質境界が差別浸食、
1:36:35	D、
1:36:36	削られて、このような崖地形を作ったという。
1:36:40	ものではなくて、
1:36:46	侵食地形であると。
1:36:49	いうふうに考えております。
1:36:54	規制庁タニですけど、
1:36:58	状況、そういう、そういう何ていうんすか調査結果があるっていうのは、資料見ててわかるんですけども、この辺の関係をですね、いや、要するに、
1:37:09	断層は切られてるんだけど、断層は切られてるって判断されてるんだけど、んだけど、地形はずっと連続してるんだよっていうことのですねその辺の考えをもうちょっと、
1:37:21	多分わかりやすくですね、記載していただけたら、もうちょっと相互の理解が進むのかなと思いますので、ちょっとその辺、ちゃんと資料化していただけたらと思います。
1:37:37	はい北陸電力の野原です。今ほどご指摘
1:37:42	資料にしっかり反映して説明改めてしたいと思います。
1:37:47	はい。お願いします。
1:37:49	はい。
1:37:50	ちょっと続けて私確認していいですかね。
1:37:53	140 ページで、断層は連続性に乏しい断層でありっていうふうには書いてるわけですけど、
1:38:00	これって、
1:38:02	今補北陸電力としては、この断層ってどれぐらいの延長だと、こう考えているんですか要するにこの地形図に北陸で北陸電力を考える。
1:38:14	その断層はここからここまでなんだっていうのをですね、ぜひ示していただきたいなと思いますけど、よろしいですか。
1:38:33	はい。北陸電力の野原です。
1:38:36	断層を、の
1:38:40	まず北側の止めといいますのは今のOS、
1:38:44	9個、
1:38:46	9個でええん。
1:38:48	まずそこにはないということを確認しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:52	南側につきましては、資料の
1:39:00	160 ページ、
1:39:05	160 ページに、段差の
1:39:09	南西方向に表土はぎ調査と、
1:39:11	いうものがございまして、こちらにはないということで
1:39:17	こちらを少なくともここまでは来ていないということを確認しております。
1:39:20	ですので、この表題区間から、今のOS9校、
1:39:24	丸ガス
1:39:26	その可能性はあると思っておりますので、
1:39:29	そういったことがわかるように、資料には反映したいと思います。以上です。
1:39:34	はい規制庁タニですはいお願いします。嘘。その延長を考慮した上で、何か連続性に乏しいって言葉で合ってるのかなっていうのをですねちょっと気にはなったので、
1:39:45	そういう何て言うんすかね北陸燃料がどう考えてるのかっていうのをちゃんと示して欲しいっていうので、コメントしました。
1:39:53	続けてなんですけど、
1:39:58	ちょっとさっきのカイダさんとのやりとりの中で151ページだとか152ページだとかで破碎部が、
1:40:07	SQの中にもあるんだよってという話なんですけれどもこれ、
1:40:11	ちゃんと高温なさ、水福村断層と同じようにですね、破碎部一覧表でつけて、
1:40:18	何て言うんすかね、軟質物が、粘土状破碎部がどれくらいあるのかとか、走向傾斜の一段今書いてありますね走向傾斜。
1:40:28	その辺の評価をですね表にしてもらったら、もうちょっとわかるかなというふうに思いました。
1:40:36	あとは、
1:40:37	薄片のところで何点かさっき確認しましたけど例えば143144とかですね。
1:40:46	この
1:40:47	今回の薄片って、結構こう割れ目がかなり多い。例えば福田断層とかと比べるとかなり割れ目が多いんですよ。これって、多分同じような作り方をしているんだと思うん。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:00	思ってるんですけども、その辺も同じような作り方なんだろうかと いう点と、どうしてこういう、こうこう我々がすごく発達するような、
1:41:10	になったのかっていうここでちょっと教えてくださってというだけの話 ですけど、何かあるんですか理由が。
1:41:20	はい。北陸電力坪井です。
1:41:21	福田断層で作った 100 円と、この断層で作った 9 円は作成した、
1:41:28	業者も
1:41:30	手法も同じでございます。
1:41:33	この割れが多い原因というのが間違ったかやり方をとっているわけでは ありませんので、やはりそのコアでのその変質、やはり粘土分が多くな れば、やっぱり膨潤性の鉱物ですので、
1:41:45	その分縮むというところで、そこが影響したのかなというふうに推定は しておるんですけども、
1:41:51	人間的なというそういう形ではないと考えております。以上です。
1:41:57	はいありがとうございます。あくまであれですね、このサンプルの性状 で、こういった違いが出てるんだらうということではやはり確認できまし た。
1:42:08	あとはですね、ちょっと細かい話をすると、
1:42:13	さっきからこの延長上がなんか 5 度だとか 15 度だとかそういう
1:42:18	結構、何ていうかシビアな判断されてるかなっていうふうな、
1:42:23	細かい判断されてるかなと思って聞いてたんですけども、これって か、今回かなりこの斜めボーリングが多いんですけども、斜めボーリ ングって、
1:42:35	何て言うんですかね方向の管理、傾斜の管理っていうのをどういうふう にされてるのか、今答えが、
1:42:43	お持ちでしたら教えてくださいな曲測定をやってるのか、その穴曲がり っていうのはどれぐらいのずれが起きてた、起きてたというかそういう のを
1:42:55	加味しているんですかっていう、その辺ちょっと教えてください。
1:43:00	北陸電力社です。
1:43:02	暴利につきまして、計測は、定期的に行っております。
1:43:07	実際にこの掘ったボーリング自体がちょっとどの程度曲していたかとい うところまでは、現状わからないのでこれについてはまた、
1:43:15	調べておきますけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:18	どのボーリングをこう曲は実施して、
1:43:21	いるということでございます。以上です。
1:43:24	規制庁谷ですはいありがとうございます。なんかちゃんとやられてるんだと思うんですけどその管理基準値をどうしているのかとか、そういうのがわかりましたら、教えてもらって。
1:43:35	ただ、本当にさっきの神戸っていうのは大丈夫なんですかとかいう話も出てくるんだと思うので、ちょっとその辺の確認を。
1:43:45	お願いしますというところと、
1:43:49	あとはですねちょっと 95 ページで、
1:43:58	檀断層、福浦断層はこういった範囲に入るよっていうのが今回シュミットで示されてるわけなんですけど。
1:44:11	やっぱり来こう見ていくと、結構ばらつきがあるのかなっていうのが、私の見てた印象でして、ばらつきがあるって粗相であるんだっただけですね。
1:44:22	もうちょっとこう、
1:44:25	なんていうんすかね広い範囲で、
1:44:28	何て言うんすかねこの黄色の枠から、例えば神戸、神戸傾斜が違うものとかは、全部一律にですね、走向傾斜が福浦断層と異なりっていう言葉で、
1:44:41	書いてるんですけども、やっぱりでもこの事違うのとかって異なりって言うよりも近いんですよ。例えばN o。
1:44:51	ええ。
1:44:52	59 だとか、ナンバー27 だとか、何か 43 だとか 73 だとか、この辺の近いところはちょっと、特に何か注意して確認されているのかとか、その辺の事実関係を教えてください。
1:45:10	北陸電力 1 社です。
1:45:12	とですね、今回この黄色に入った。
1:45:16	ものと、黄色に入っていないものにつきましても、検討は行っておりました、例えば、先ほどおっしゃいましたN o。
1:45:26	59 番とかですと、97 ページの右側の、
1:45:31	表に、59 番の福田断層に対応しないと判断した根拠ということを書かせていただきますけれども、赤くしていただけてますけれども、一つは、走向傾斜が福田断層と異なるというのが一つあります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:44	これにつきましては、この 59 番につきましては、今回粘土状破碎部の幅ですとかさ、砂地を角礫状破碎部の幅の欄も追加させていただきましたけれども、
1:45:54	粘土状破碎部、未固結の破碎を伴っておりますので、
1:45:58	断層の可能性があるということで、連続性の検討を同時に行っております。
1:46:04	それにつきまして連続性の検討を行った結果、隣接校である F D 参考にも連続しないということを確認してございます。
1:46:12	ですので、この少なくともこの黄色ハッチの近くにあるものにつきましては、
1:46:17	住友年度破碎部の安孫子家常見顕顕な破碎部を伴ってるものについては、連続性検討も一緒に行っているという検討状況にございます。以上です。
1:46:29	はい規制庁タニです。
1:46:32	何かさっきの話は、多分未固結の破碎部を伴うものについては全部、やってるんだっていう説明かと思ってたんですけども、僕の方が聞きたい聞きたいというか、
1:46:44	確認したかったのは特に近いようなものは、一律にこの範囲に入らないからというのではなくって、何か町近いなりの走向傾斜が近いなりの判断を、
1:46:56	ちゃんとかう他とは、もう少しこう、ちゃんとやってるっていう説明なんですかね。そういうふうに理解しましたけどそれでよろしいですか。
1:47:07	はいその通りです。
1:47:10	はい。起こりました。
1:47:15	あとはですねえ。
1:47:17	ちょっとすごい細かい話なんですけれども、
1:47:23	ちょっと薄片とかで、
1:47:28	北福田断層の北端の薄片ってどれでしたっけ。
1:47:32	何ページでした。
1:47:36	106 ページです。106 ページ。
1:47:40	これですね。
1:47:44	107 ページで、
1:47:48	P 面とか、ある面とか、そういうのをこう判断してるって薄片で判断してるわけなんですけれどもね、これ薄片の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:58	薄片の細かい話をする前に、
1:48:01	例えば6露頭だとかブロックだとか、
1:48:06	これ106ページの縮尺のレベルですね。
1:48:11	そういったものでこういうこうなんていう背ずれのセンスっていうのは判断できないもんなんです何かいきなりこの107ページの細かい、
1:48:21	の見てでもですねこれってそんなにこうはっきりしているように見えないですし、
1:48:26	何かこう、
1:48:29	もうもっとこう示し方はないんですかっていう話なんですけど。
1:48:34	もう少し大きな、
1:48:37	縮尺で確認できないんですか。
1:48:46	北陸電力スモリです。
1:48:50	そうですねやはりこれ
1:48:55	例えば全体106ページのようなスケールの写真でも、
1:48:59	見える。
1:49:01	構造であれば、やはりこういうところでいきたいということは、敷地内でも、市内の福田断層等でも、
1:49:07	大坪が宇田村野トレンチですとかああいったところでは、書かせてスケールごとで、構造書かせていただいたと思うんですけども、そういった意味で言いますとこの106ページのこの薄片では、
1:49:18	やはり107ページぐらいのちょっと拡大したもので、
1:49:22	スライドは確か、
1:49:23	構造のあれなりなしてのちょっと言えなかったのも、変えて、
1:49:27	おりませんけども、これまでの資料としてはこのスケールでも見えるものは、書かせていただいたものはあったかなと思います。以上です。
1:49:37	規制庁谷です。嘘確認した上で、ここではちょっと、
1:49:43	わからないってことですね105ページとか106ページの高レベルで見てもわからないということで、はい、確認できました。
1:49:52	あと、この106ページですごく細かい話なんですけれども、
1:49:57	上盤側上がりの逆断層センスが推定されるっていう書き方してるんですけど、これ、上盤側上がりっていうこう情報ってあんまり、
1:50:07	必要なのかなっていうのが疑問で、多分これ言いたいのは、西側が上がってるって言いたいんですかね、西側上がりの逆断層センスっていうことで、福田断層と同じような方向っていうのを言いたいのか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:21	ちょっとこの辺の記載を考えた方がいいかなと思うんですけどいかがですか。
1:50:26	国分電カスモリです。趣旨としましては言われた通りでして、福田断層上盤側が西側が上がるという、
1:50:34	地形的にも、
1:50:36	南出の特徴等もありますので、そういったところから、福田同じ逆断層センスということ、
1:50:42	言いたい、文章になっておりますので、ちょっとこのあたり書き方、
1:50:46	検討させていただきたいと思います。以上です。
1:50:49	はい、お願いします。
1:50:51	あとはですね反射法のところさっきカイダも言いましたけれども、
1:50:58	例えば 10、
1:51:01	10 ページ 11 ページだとかって、結局福浦断層って、
1:51:06	この反射法、
1:51:08	地震探査で見ると、どういう特徴でこう見られるようなものなんですかっていうのをですね。
1:51:16	何かわかりやすく、
1:51:19	これまで確認した何ヶ所かで、福田断層取られてると思うんですけど、
1:51:25	その辺ちょっと
1:51:27	そそう総括としてどんなふうに、小海。
1:51:31	反射法探査では見れるんだっていうのをですね。
1:51:34	まとめていただけたらと思うんですけどそれどっか見たらわかるんですけど。
1:51:41	保育電力の小林です。
1:51:43	今ほどの趣旨のコメントですが、
1:51:48	すいません総括としてまとめ、こういうものが、副断層としての特徴として読めますよというような、
1:51:56	ページはちょっと今、つけておりませんのでそちらを追加させていただき、いただきたいと思います。一応特徴としましては今、10 ページのお話ありましたが、10 ページのところ、
1:52:06	小さいんですが、反射面のやはり、不連続として認められてその付近で、反射面の系統的な傾斜であったり、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:17	あとは少し反射面の方が、その不連続の両面両側で変わったりというところがありまして、そういったものを見ておりますので、ちょっとそういった考え方の基準も、まとめたページをつけたいと思います。以上です。
1:52:32	規制庁谷ですはいお願いします。
1:52:43	これは、以上です。
1:52:50	カイダですけども、
1:52:53	ちょっと
1:52:55	またちょっとまた話戻るんですけど確認させてください。
1:53:00	141 ページこれ、
1:53:03	大坪が底盤の基礎スケッチがあって、
1:53:07	これ
1:53:09	既出協会になってますっていうようなことが書いてあるんですけど。
1:53:14	これちょっと図がわかりにくいんですけども、
1:53:19	どっちがどうという地質かっていうのは、これは三角と。
1:53:25	宇井の違いなんですかねこん。
1:53:27	ちょっと重ねていて、
1:53:29	どっち側が、
1:53:31	安山岩でとか、
1:53:33	凝灰角礫岩でっていうのが、これを読み取りづらいんですけど、
1:53:37	何かこれ、ここ
1:53:39	書いて、図の中にもこっちが小郡ですとかっていうのを書いておいたほうがわかりやすいのと、
1:53:46	あとこれはボーリングの調査結果とこの底盤の調査結果っていうのは、
1:53:52	合ってるっていうことでよろしいですか。
1:53:57	北陸電力津守です。任せて、拡大写真ちょっとつけるような形で、わかりやすくしたいなと思うんですけども、141 ページで言いますと、右側に凡例ありまして、
1:54:09	凡例の左の、
1:54:11	列の
1:54:13	この四角の上から二つ目が、部位でこれは安山岩でその1個下3掛けが凝灰角礫岩になっています。
1:54:20	左の設置で言いますと、この

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:23	断層を今シームと書いてますけども、スケッチでは、ここの北西側がV安山岩になってまして、南東側が三角、凝灰角礫岩になっております。
1:54:37	これはボーリングでも、位置関係で言いますと、この南東側から北西側に向けて、ボーリング、いろんな形になってまして、
1:54:47	この断層というのが、南東傾斜になりますので、上盤側が凝灰角礫岩、下盤側が安山岩という形でこのスケッチと同じような、
1:54:59	状況が確認できると。
1:55:01	ということになってございます。以上です。
1:55:07	規制庁の甲斐です。わかりました。
1:55:10	このスケッチの中でいうとその境界付近はそういう業事実境界になって、
1:55:19	全体がそういうものだっていうことなんですか。もっと例えば
1:55:28	上の方に行ったら、また地質境界違うものが出てきてきたりとかっていうのがなくても、
1:55:35	この範囲だとこの断層を境にぴしっと分かれるっていうことなんですか。すいません書いてあるけど中の図ガス
1:55:44	かすれて読みづらいので確認させていただいてるところです。
1:55:51	9電力スモリです。このシームを挟んで北西側は、このスケッチの範囲は、江藤すべて安山岩部伊賀江藤規制、記載してある事実になってございます。
1:56:02	以上です。
1:56:07	はい。規制庁の甲斐です。わかりました。そういう、
1:56:12	状況だと、いうことで、
1:56:18	安山岩ってというのが、
1:56:22	どっちが下かたいというか
1:56:27	組織地形なのでどっちかが硬いかいいうのが、あれだけ出てるので、あると思うんですけど。
1:56:34	そのあたりの状況ってのはコアとか見られて、
1:56:38	の形ん、どういった状況なのかちょっと資料からはわからないんですけども、その様子を教えていただけますか。
1:56:48	北陸電力木村です。142 ページのコアをちょっとコア写真を見ていただきたいんですけども、
1:56:58	断層を、
1:57:01	例えばOS6 項、右側の写真。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:05	見ますと、
1:57:07	黒の破線で囲った部分が、断層を、の破碎部の位置になります。
1:57:13	それより上側が凝灰角礫岩で、下側の、ちょっと白っぽいのが安山岩、
1:57:22	となっております。この断層を境に、
1:57:26	下盤側の岩盤が、これをS5も共通なんですけども、
1:57:31	下盤側の岩盤が、
1:57:33	すごく白くなっていて、変質を受けている状況となっております、
1:57:40	やや軟質となっているという状況は確認されておりますので、上盤側の凝灰角礫岩に比べて、
1:57:50	下盤側の安山岩の方が、
1:57:54	変質を受けていて、フランスであると。
1:57:58	ということが確認できております。
1:58:00	それが
1:58:02	今、地形で確認できている、直線的な崖地形、
1:58:08	とも整合しております、軟らかい安山岩の方が、削られておまして、硬い凝灰角礫岩の方が、
1:58:16	崖側の方に残っているという形になっております。
1:58:21	以上です。
1:58:25	はい。
1:58:25	規制庁のカイダですわかりました。地質境界っていうよりむしろその、
1:58:30	演出の度合いっていう、
1:58:32	ことの境界ということで、
1:58:36	その辺はある。
1:58:38	わかりました。
1:58:40	私からは以上です。
1:58:53	規制庁佐口ですけども、ちょっと断層の評価のところでは1点だけ確認をさせていただきます。
1:59:03	ちょっとすいません根本的な、
1:59:06	事なんですけど、139ページから、
1:59:12	150何ページかな。
1:59:17	160ページぐらい。
1:59:21	もうちょっと、
1:59:23	162ページ下までが多分この案断層の評価ということで、100、39ページとか140ページで書いてある。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:33	特に 139 ページだと、
1:59:36	二つ目の丸のところでこのふくらぶら断層との関係について確認って言うんですけど、これはあくまでも、
1:59:43	何か、ちょっとこの後で示されているような間瀬切断されているとか、そういう話があったと思うんですけど、そこも多分はっきり、
1:59:55	多分そうだろうという、ご説明で、はっきりこれ敷地内でもやりましたけど、切られた相方が確認されているわけでもなくて、
2:00:05	140 ページで、この左の平面図とかも見ると、
2:00:10	結局これっていわゆるこの、
2:00:12	分布としてT字んな。
2:00:14	てるんですよね。
2:00:16	そうしたときに、当然これ敷地内でもやりましたけど、
2:00:22	多分、ここでは書かれてないかな、いわゆるその分岐とか、
2:00:28	共役関係にあるかないか。
2:00:32	ていうことって多分資料2、
2:00:35	出てなかったかなと思うんですけど、そういうもんじゃないっていうことであれば、何かそういった、
2:00:41	例えば走向傾斜変位、変位センスとかですね、そういった関係で、そういうものであるのかないのかっていうのを、多分どっかに根拠を示した上で書かれているのかなと思ったんですけど私が見た限り今ない、ないかなと思うんですけど。
2:00:56	もしあったら、ここにあるっていうのをちょっと教えてください。
2:01:11	保育電力の野原です。
2:01:13	衛藤福浦殿その分岐ですとか、共役ってというような記載江藤現在の資料には
2:01:20	書いておりませんので、
2:01:22	今後そういった変位センスですとか、走向傾斜の関係、そういったことも整理しまして、そういった記載も付け加えたいと思っております。以上です。
2:01:34	はい。
2:01:36	規制庁策ですけども、今ちょっと私、そういうコメントってというか確認をさせていただいたのは、これ多分当然ながら福浦断層って地震動評価されるわけで、地震動評価するときにもそういった、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:49	共役とかそういう関係のものがあって、今のこの断層っていうのは、当然より敷地に近い側にあるのでもしこれが本当にそういう関係にあるんだったら、ちょっと地震動評価でも、どうするのかっていうのもあるので少し確認させていただいたんですけど。
2:02:05	いずれにしてもそういう関係にないんであれば、しっかりですね、ちゃんと根拠とかも含めて、そうそうじゃないんですよということは示していただきたいと思いますので、よろしくお願いします。
2:02:40	規制庁認識です。
2:02:41	ちょ規制庁側から確認させていただきたかったところについては、大体出たところですよ。あと時間もちょうど12時ぐらいありましたので、
2:02:53	北陸電力側から何か最後確認をしておきたいことがありましたらお願いいたしますが、
2:03:02	個別にこちらの方からご説明する。
2:03:06	確認したいことはないんですけども
2:03:09	今日の事実確認の中で幾つか
2:03:12	記載の十字ですとか少し観察の、
2:03:15	ある程度再確認したところもございましてそういったところをしっかりと対応して、
2:03:20	資料の方修正したいと思います。以上です。
2:03:32	規制庁西木です。席次準備の方、修正の方ただけて、修正等ありましたらまたこちらにあの時、できましたということでご連絡いただければと思いますのでよろしくお願いします。
2:03:47	承知いたしました。
2:03:51	それでは本日の
2:03:54	ヒアリングの方をこれで終了したいと思います。
2:03:58	お疲れ様でした。
2:04:01	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。